

日本芸能史

「ジャポニスムと芸能・芸道」

ジャポニスムは十九世紀中ごろから二十世紀初めにかけて欧米で流行した日本趣味をいうフランス語で、英語ではジャポニズムという。中心はフランスであったが、ヨーロッパ全土、アメリカなどにも波及してブームとなった。一八六七年のパリ万博前後に日本から運ばれて展示された文物が一つのきっかけであった。

異文化接触は二つの文化が同質性よりも異質性を持つときにはるかに効果をあげることを示してくれるのがジャポニスムであった。しかし、神と人の同居する日本文化を人中心の欧米文化が理解することは至難であったことを示すのも、ジャポニスムや川上音二郎・筒井徳二郎らの欧米公演であった。この事実、日本が近代以降、海外文化の摂取に狂奔してきたことに深刻な反省を求めてもいる。

いま、私たちには、日本の芸能と芸道の一つにした新しいジャポニスムを創造し、世界に示す責務がある。

企画・コーディネーター 田口章子（京都芸術大学教授）

日本芸能史

ジャポニズムと芸能・茶道

前期(全14回) 2022年4月18日～2022年7月25日

後期(全14回) 2022年9月26日～2023年1月16日

毎月曜日 15:10～16:30 (開場 14:40)

会場 / 京都芸術劇場 春秋座 (京都芸術大学内)

前期

- 1 4月18日 **総論 ジャポニズム** 諏訪春雄
- 2 4月25日 **琵琶** 奥村旭翠
- 3 5月9日 **淡路人形** 淡路人形座
- 4 5月16日 **雅楽** 東儀秀樹
- 5 5月23日 **日本舞踊** 藤間勘十郎
- 6 5月30日 **彫刻** 藪内佐斗司
- 7 6月6日 **現代美術** 田名網敬一 (聞き手 佐藤博一)
- 8 6月13日 **芸能史の近代** 諏訪春雄
- 9 6月20日 **上方舞** 山村友五郎 (聞き手 田口章子)
- 10 6月27日 **陶芸** 沈壽官
- 11 7月4日 **日本画** 山本太郎
- 12 7月11日 **能** 宝生和英
- 13 7月18日 **壬生大念佛狂言** 壬生大念佛講
- 14 7月25日 **歌舞伎** 田口章子

後期

- 1 9月26日 **総論 明治の光と影** 諏訪春雄
- 2 10月3日 **茶道** 千宗左
- 3 10月10日 **現代美術** 東芋 (聞き手 佐藤博一)
- 4 10月17日 **華道** 池坊専好
- 5 10月24日 **宝塚** 榛名由梨 (聞き手 玉岡かおる)
- 6 10月31日 **琉球芸能** 嘉数道彦
- 7 11月7日 **木ノ下歌舞伎** 木ノ下裕一
- 8 11月14日 **落語** 桂吉坊
- 9 11月21日 **料理** 森川裕之
- 10 11月28日 **アニメ** 諏訪春雄
- 11 12月5日 **常磐津** 常磐津都毘藏・常磐津都史
- 12 12月12日 **能** 天野文雄
- 13 12月19日 **京舞** 井上八千代 (聞き手 田口章子)
- 14 1月16日 **狂言** 茂山忠三郎

丁度よい時間